



● 知識とスキルを結集して

このプロジェクトにおいて、自分の考えや発明の過程を記録する「書く」作業、リサーチに不可欠な「読む」作業、長さや高さなどを測り、計算するための「算数」はどれも、正確に機能する発明品の完成に欠かせません。アイデアのスケッチや、視覚に訴えるプレゼンテーションのためには「美術」のセンスが、分かりやすく説得力のある説明で“投資家”を味方につけるためには「話す」力も必要です。このように様々な分野にまたがる幅広い知識とスキルを要する“Invention Convention”は、理想的な学習プロジェクトと言えるでしょう。

ある4年生の教師は、見学を終えて教室に戻るや否や生徒達に提案しました。「来年の、あなた達の“Invention Convention”に向けて、今から少しずつ発明のアイデアを考えてみたら？」1年も前から構想に着手した次回の“Invention Convention”は、今年よりも更にグレードアップしたものになりそうです。来年はどんな画期的な発明品が登場するのでしょうか。今から楽しみです。



名古屋国際学園 学校概要

名古屋国際学園（名古屋インターナショナルスクール）は、中部地方で唯一、全課程で米国西部地域学校大学協会（WASC）及び、国際バカロレア・ディプロマプログラム（IBDP）の正式認可を受けたインターナショナルスクールです。

愛知県だけでなく近隣の岐阜県、三重県からも、25カ国以上、約330名の生徒が通学しています。授業は全て英語で行われます。



Data

創立／1964年、生徒数／約330名

設置学部／幼児教育部（3～4歳児）、小学部（キンダーガーテン～5年生）、中等部（6～8年生）、高等部（9～12年生）
認可／米国西部地域学校大学協会（WASC）

国際バカロレア・ディプロマ・プログラム（IBDP）

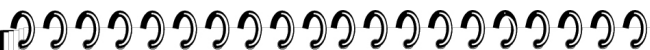
※2010年 国際バカロレア・初等教育プログラム（IBPYP）認定予定

スケジュール

米国の標準的なカレンダーに準じ、始業は8月下旬、終業は6月中旬となっていますが、入学選考基準を満たしていれば、編入は随時可能です。

卒業後の進路

卒業時には、アメリカのハイスクール卒業と同等の資格が得られるとともに、国際バカロレアのディプロマ資格を取得するチャンスもあります。卒業生の多くは、アメリカ、カナダなど英語圏の大学に進学します。近年では、早稲田大学、上智大学など、英語のプログラムがある日本の大学に進学した生徒もいます。



学校法人 名古屋国際学園

名古屋インターナショナルスクール

〒463-0002 名古屋市守山区中志段味南原 2686

TEL：052-736-2025 E-mail：info@nis.ac.jp

http://www.nagoyais.jp/japanese（日本語）



子ども達の自由な発想を奨励し、そのアイデアを具体的な事物で表現させる。NISの“発明見本市”の紹介です。

“投資家”への子ども達自身によるプレゼンテーションなどは、日本の普通の学校では考えられず、インターナショナル・スクールの教育の自由・ユニークさを端的に表しています。

その教育を受けている、写真の中の子ども達の目の輝きが印象的です。